

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

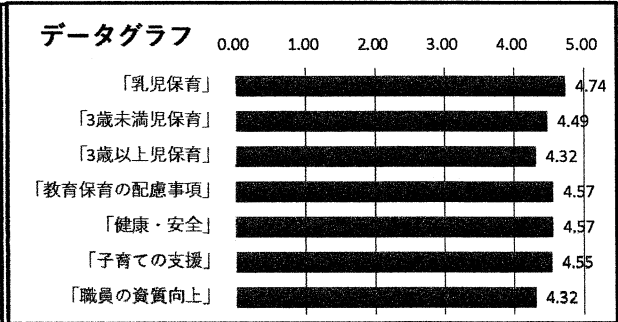
作成日 令和6年2月

法人名 社会福祉法人 照治福祉会	園名 阿武山たつの子認定こども園
---------------------	---------------------

全体平均 4.49

第2章第2節 乳児期の園児の保育	穏やかな雰囲気作りや表情、口調などを心がけながら、園児の言葉にならない思いをしっかりと保育者が受け取り表現することで、自分のことを分かってもらえるという安心感が持てるようになってきた。体を動かすことは、子どもが人と関わったり自分を表現したりすることに深く関連しているので、積極的に取り入れて行くことが大切であると感じた。月齢差が大きいため、担任間で連携をとりながら空間やあそびの内容を分けて遊べるように環境を整えてきたが、あそびや環境の見直しをしながら更なる充実を図っていききたい。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	自分でできることが少しずつ増えてきた中で、前までであったやってみようという意欲よりも、大人に甘えたい、自分でやりたくない気持ちが強くなり、靴下や帽子を被ることに時間がかかるようになってきている。一方で遊びに関しては積極的な姿が増え、ままごと用ではない玩具をお皿に盛りつけたり、積み木と動物の玩具を組み合わせたりと、自由な発想での遊び方を見つけている。造形遊びにも心が踊らされている様子が伺えた。人間関係の面では、必要に応じて仲立ちをしてきた。しかし、対応しきれない瞬間もあり、もう少しゆとりのある空間づくりを考えていきたい。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	子どもたちが作ったり演奏したりしたことを、みんなで共有したり飾ったりしてその後の保育にも繋げて活かすことが出来た。自分の気持ちを伝えることは出来るようになってきたが、人の話を聞くことは難しい時もあるので、相手にも気持ちや考えがあることを伝えて相手の話を聞く姿勢を大事にしていく工夫が必要である。論文作成の過程でも、保育実践として子どもたちと一緒に遊びの中で自然環境と関わる機会を大幅に増やすことが出来た。子どもたちが興味を持った際に調べたり見たりできるよう図鑑などを常備し、様々な物を利用して表現できるよう成長に合わせて環境を整えてきた。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	一人一人の発達過程や留意点を職員間でしっかり共有し、連携しながら子どもたちが健やかに成長できるように努めてきた。そうすることが保護者との信頼関係に繋がっていくと考える。一人一人の発達や心の状況に配慮しつつ、子どもにあった声掛けを意識することができた。子どもが不安を感じないように一人一人の様子を見ながら言葉がけをした。子どもの様子が日頃と違う時には保育者間でも共有し、体調の変化を気遣いながら傍にいたようにした。子どもたちが安全に過ごしていけるよう担任間で協力をし合っている。
第3章 健康及び安全	気になることは給食担当の職員としっかり話し合い、連携を取り入れている。食育を通して子どもたちが食を身近に感じ、親しみを持てるように対応している。体調を崩しやすかったり、感染症が流行ったりするため、様子を見て看護師に相談をしながら必要に応じて受診をお願いするなどの対応を行っている。毎月の衛生検討委員会や安全チェックリストによって、園内の清潔や安全について、分担して話し合い全職員に周知する、というルーティーンが機能しており、清潔と安全が保たれている。
第4章 子育ての支援	個別面談を行ったり公認心理師との面談を調整したりしながら、少しでも不安が和らぐよう配慮している。個人懇談とは別に個別支援面談も年4回実施し、よりきめ細やかな配慮や、保護者との連携や協力が出来るように配慮している。保護者支援としてやり過ぎてしまう部分もあるように思うが、甘えられる場所が見つかって良かったと捉え、少しずつ頑張れそうなことを提案しながら認めていけるようにしたいと感じる。コロナ禍で育った2、3歳が今やと外に出て様々な人との交流、場所に行けるなど外の世界を知る機会が増えている。たくさん経験が増えていけるよう、園や支援センターでできる事を丁寧に行っていきたい。
第5章 職員の資質向上	園内公開保育、講座の受講、歌唱指導やわらべ歌研修などの実技研修、法人公開保育や施設関係者評価委員会への参加、高槻市主催の分野別による研修などではその時に必要な職員が参加出来ている。自分自身の課題や疑問に対しては積極的に先輩の保育者に相談したり、チーフに話すことで改善に向けて動いている。年に数回研修の機会が設けられ、保育に関することやわらべ歌など充実した研修が受けられている。それに加えて様々な専門性のある研修の呼びかけもあり充実していると考え。キャリアパス対象の職員はキャリアアップ研修に参加し、園全体としての一人ひとりの課題については、業績・意欲・能力評価一覧が参考となり自己課題に繋がっている。
総合	全体の評価平均は、前期の4.31から4.49へと更に上昇し、概ね良好な園運営ができていると判断できる。前期の振り返りから、出来ていない事ばかりでなく出来ている事にも目を向けられるようになったように感じる。今年度は園内公開保育を行い、目の前の保育を職員が知り、意見交換や質疑応答などをしながら園の保育を共有し自身の保育にも活かしていけるような時間となった。他の職員と共有しながら対話することでともに向上心を持つことができる様になっているとも感じる。自己評価も2回行うことで努力すべきところや自分ができていることを客観的に見返すことができ、資質向上につながったと感じる。また分からなかったことや知らなかったことを語り合う事で、自園の事を振り返り下げて知ったり、知ろうとする意欲につながったりする機会もなった。

内容	項目数	平均
「乳児保育」	70	4.74
「3歳未満児保育」	327	4.49
「3歳以上児保育」	424	4.32
「教育保育の配慮事項」	126	4.57
「健康・安全」	805	4.57
「子育ての支援」	256	4.55
「職員の資質向上」	142	4.32
計	2150	4.49



集計データ (保護シート)

集計

72	合計 (5章除く)				2008	9050	4.51		
	合計 (5章含む)				2150	9664	4.49		
					黄色いセルは評価対象項目				
73	第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項	第2章	(小計)			947	4207	4.44	
75		第2節 乳児期の園児の保育に関するねらい及び内容	1 (乳児期の発達と保育)			70	332	4.74	
76			1 健やかに伸び伸びと育つ (身体的発達)	ねらい(3項目)	内容(5項目)	内容の取扱い(2項目)	25	123	4.92
77			2 身近な人と気持ちが通じ合う (社会的発達)	ねらい(3項目)	内容(5項目)	内容の取扱い(2項目)	20	90	4.50
78			3 身近なものに関わり感性が育つ (精神的発達)	ねらい(3項目)	内容(5項目)	内容の取扱い(2項目)	25	119	4.76
80			第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育に関するねらい及び内容	1 (自分でしようとする気持ちの尊重)			327	1467	4.49
81			1 健康	ねらい(3項目)	内容(7項目)	内容の取扱い(4項目)	77	345	4.48
82			2 人間関係	ねらい(3項目)	内容(6項目)	内容の取扱い(3項目)	60	264	4.40
83			3 環境	ねらい(3項目)	内容(6項目)	内容の取扱い(3項目)	60	272	4.53
84			4 言葉	ねらい(3項目)	内容(7項目)	内容の取扱い(3項目)	70	311	4.44
85			5 表現	ねらい(3項目)	内容(6項目)	内容の取扱い(4項目)	60	275	4.58
87			第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育に関するねらい及び内容	1 (個の成長と集団としての活動の充実)			424	1832	4.32
88			1 健康	ねらい(3項目)	内容(10項目)	内容の取扱い(6項目)	80	359	4.49
89			2 人間関係	ねらい(3項目)	内容(13項目)	内容の取扱い(6項目)	104	452	4.35
90			3 環境	ねらい(3項目)	内容(12項目)	内容の取扱い(5項目)	96	396	4.13
91			4 言葉	ねらい(3項目)	内容(10項目)	内容の取扱い(5項目)	80	348	4.35
92			5 表現	ねらい(3項目)	内容(8項目)	内容の取扱い(3項目)	64	277	4.33
102			第5節 教育及び保育の実施に関する配慮事項	(小計)			126	576	4.57
			1 満3歳未満の園児への配慮事項	(1) 乳児期の園児への配慮事項	(1) (心身の機能の未熟さによる疾病に配慮する)		78	358	4.59
			(1) 乳児期の園児の保育に関する配慮事項				34	163	4.79
		(2) 満1歳以上満3歳未満の園児の保育に関する配慮事項				44	195	4.43	
		2 教育保育における全般への配慮事項	(1) (個人差を踏まえ、気持ちを受け止め援助する)			48	218	4.54	
108	第3章 健康及び	第3章	(小計)			805	3679	4.57	
109		第1 健康支援	(1) (健康状態、発達状態を把握する)			200	940	4.70	
118		第2 食育の推進				165	723	4.38	
131		第3 環境及び衛生管理並びに安全管理				213	953	4.47	
		第4 災害への備え	(1) (防火設備、避難経路等の点検を定期的に行う)			227	1063	4.68	
138	子育ての支援	第4章	(小計)			256	1164	4.55	
139		第1 子育ての支援全般に関わる事項				95	436	4.59	
143		第2 幼保連携型認定こども園の園児の保護者に対する子育ての支援				133	600	4.51	
152		第3 地域における子育て家庭の保護者等に対する支援				28	128	4.57	
	職員 の 資 質 向 上	第5章	(小計)			142	614	4.32	
		1 職員の資質向上に関する基本的事項				142	614	4.32	
		2 施設長の責務							
		3 職員の研修等							
		4 研修の実施体制等							